

記載例

郵送して申立てをするときは、申立手数料としてとりあえず500円分の収入印紙を貼っておいてください。その場合には後に足りない分を納めていただくことがあります。

この欄については、裁判所にお尋ねください。

相手方の住所又は事務所を管轄する簡易裁判所名を書いてください。

調停事項の価額	①	円
ちょう用印紙	②	円
予納郵便切手	③	円

印紙欄
(割印はしないでください)

(債務弁済協定・債務不存在)

調 停 申 立 書

〇〇 簡易裁判所 御中

作成年月日 令和 〇 年 〇 月 〇 日

住所(所在地) (〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇)
〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
 氏名(会社名・代表者名)
甲野 太郎
 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

申立人に対する書類の送達は、次の場所に宛てて行ってください。
☒ 上記住所等
☐ 勤務先 名称 〇〇〇 住所 〇〇〇 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
☐ その他の場所(申立人との関係 〇〇〇) 住所 〇〇〇 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
☐ 申立人に対する書類の送達は、次の人に宛てて行ってください。
 氏 名 〇〇〇

住所(所在地) (〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇)
〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
 氏名(会社名・代表者名)
〇〇金融商事株式会社 代表取締役 乙野次郎
 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

(送付先) 支店 (〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇)
〇〇支店 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

(どちらかに○を付けてください。)

申 立 て の 趣 旨

- ① 債務額を確定したうえ債務支払方法を協定したい
- 2 後記債務を負っていないことの確認をしたい

との調停を求める。

あなたの住所、氏名、電話やファクシミリがある場合にはその番号を書き、氏名の横にあなたの認印を押してください。

申立人が会社であるときは、会社の所在地、会社名、代表者の氏名、電話やファクシミリがある場合にはその番号を書いた上、代表者印を押してください。

借り受けたときの住所、氏名が現在と異なっている場合には、それらも併記してください。

あなたに対して裁判所から書類を送る場合にどこに宛てて送ってほしいか、希望する場所(送達場所)の□をレ点でチェックして届け出てください。以後あなたに対する書類はこの届出場所に宛ててお送りすることになります。

あなたの勤務先に書類を送ってほしい場合には、「勤務先」の□をレ点でチェックし、勤務先の名称とその住所を書いてください。

あなたの住所でも勤務先でもない場所(例えば、あなたのお父さんの家など)に書類を送ってほしい場合には、「その他の場所」の□をレ点でチェックし、「申立人との関係」の部分に「父の家」などとあなたとその場所との関係を書き、その住所を書いてください。

上記の届出場所においてあなたの代わりにあなた宛の書類を受け取るべき人(送達受取人)を届け出る場合には、この□をレ点でチェックし、その人の氏名を書いてください。この届出をすると、以後あなたに対する書類は送達受取人に宛ててお送りすることになります。

相手方の住所、氏名、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番号を書いてください。

相手方が会社であるときは、商業登記簿謄(抄)本又は登記事項証明書を見て、会社の所在地、会社名、代表者の氏名を書き、また、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番号を書いてください。

借り受けた支店又は営業所の所在地を書いてください。

この表には、返済の状況を日を追って、年月日、金額を具体的に書いてください。元利の別は分からなければ書かなくてもかまいません。支払っているが、資料もなく、月日も金額も書き入れられない場合は、備考欄にその旨を書いてください。

(債務弁済協定・債務不存在)

紛争の要点 (下記のとおり)				返済年月日	返済金額(円)	元利の別												
1 債務の種類 ☒ 借受金 ☐ 立替金 ☐ 保証債務 (借受人氏名)				0・4・25	7 000	元 ・ 利												
				0・6・10	12 000	元 ・ 利												
				0・7・25	8 000	元 ・ 利												
2 借受金額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>借受年月日</th> <th>借受金額(円)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0・4・1</td> <td>1,000 000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0・8・1</td> <td>200 000</td> <td>切替増額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>切替増額</td> </tr> </tbody> </table>				借受年月日	借受金額(円)		0・4・1	1,000 000		0・8・1	200 000	切替増額			切替増額	0・8・25	9 500	元 ・ 利
				借受年月日	借受金額(円)													
0・4・1	1,000 000																	
0・8・1	200 000	切替増額																
		切替増額																
				0・8・30	10 000	元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
3 返済状況 右表のとおり (現在の元本残額 円)				備考														
4 調停申立ての理由 ☒ 申立人は、他にも債務があり、残債務額を一時に返済できない。 ☐ 申立人は債務を負っていないのに、相手方から支払を請求されている。																		
				添付書類 金銭借用証書写し 2 通 領収証写し 5 通 商業登記簿謄(抄)本又は登記事項証明書 1 通														

債務の種類に○をしてください。

なお、保証債務の場合には、() 内に借受人 (主債務者) の氏名を書いてください。

あなた又はあなたが保証した人が借り受けたときの年月日、金額、その後の切替、増額状況を書いてください。

約束した利息・損害金の年利・月利・日歩のいずれかを書いてください。分からないときは書かなくてもかまいません。借受金によって率が違うときは、最初の借受金の率を書き、残りの分は備考欄に書いてください。

元本の残高が分かっていたら書いてください。

申立人又は相手方が会社の場合には、その会社の商業登記簿謄(抄)本又は登記事項証明書を添付してください。

証拠書類となる金銭借用証書などがありましたら、その写しを添付してください。